

1. 予算編成にあたって

令和7年度は、「龍ヶ崎みらい創造ビジョン for2030」に基づき取り組んだ、これまでの成果や今後の在り方を客観的に評価しながら、未来に向けて歩みを進める年です。

私が市長に就任して、早くも4年目となりました。この間、新型コロナウイルスのまん延による社会経済活動の停止と5類移行後の急速な回復、ロシアのウクライナ侵攻に端を発するエネルギー価格やそれに続く様々な物価の高騰などに対する市民への支援、また、記録的短時間大雨や勢力を増す台風といった自然災害への対応など、非日常的な事態が日常化する中、安全・安心な市民生活の確保に努めてまいりました。

令和7年度は、これまでどおり、私が思いを込めた、本市の最上位計画である「龍ヶ崎みらい創造ビジョン for2030」に掲げる、「未来創造プロジェクト」、「魅力創造プロジェクト」、「幸せ創造プロジェクト」の3つのリーディングプロジェクトに、重点的かつ優先的に取り組み、本市のあるべき姿の実現を、積極的に推進していきます。

そのため、リーディングプロジェクト等の具体策であるアクションプランに位置付けた政策的事業や、公共施設及びインフラの整備・維持更新などについて、これまでの成果や、今後の在り方などを客観的に評価し、事務事業の見直し、公共施設の全体最適化による維持管理費の縮減といった歳出削減や、柔軟な発想による新たな財源の創出などによる収支改善の取り組みを、中長期的視点をもって実施してまいります。

このような取り組みの一つとして、民間活力や資金を活用してリニューアルを進めている森林公園は、いよいよ3月にグランドオープンを迎えます。また、4月には、保健福祉棟3階に多世代交流センター「RINK」がオープンします。加えて、旧城南中学校跡地への複合商業施設開業に向けての調整や、長山中学校区に新設予定の義務教育学校「北竜台学園」の開校準備を進めるなど、魅力あるまちづくりを継続していきます。

これらの、龍ヶ崎が元気になるさまざまな事業を積極的に進め、これからも「住みたい」「住み続けたい」まちを市民の皆様と共に創り上げてまいりたいと思います。

ご理解、ご協力をお願いいたします。

龍ヶ崎市長 萩原 勇